

**〔長久手町業務評価票：平成22年度業務〕**

担当課・係名	産業緑地課産業振興係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）63-1111・283】
第5次総合計画掲載	基本方針（7）基本施策（2） 農のある暮らし・農のあるまちを支える

業務の名称	営農振興事業				
(1)根拠法令・条例					
(2)実績額（千円）	年度	20	21	22見込み	23要求
	交付金額 （予算額）	350千円 （350千円）	350千円 （350千円）	350千円 （350千円）	350千円
(3)補助率	_____ %（要綱要領で認められる補助率）				
(4)業務期間	開始した年度	60年度	終了（予定）年度	年度	

(5)業務の概要（簡潔に箇条書きで記載）

①業務目的（達成目標）	町内の農業生産物の展示を行い、農業の実態を住民に周知するとともに農業生産意欲の向上と農業の振興に資する農業展に対し、助成を行う。				
②補助対象	農業展運営協議会				
③平成22年度実績	農業展補助金 350千円				
④団体の事業活動 （団体への補助の場合）	農業展運営協議会 農畜産物共進会、緑化木コーナー、米消費拡大コーナー、お茶コーナー、酪農コーナー、花き園芸コーナー、草もちコーナー、五平餅コーナー、おこしものコーナー、農産物即売コーナー、市ござらっせコーナー、農業総合試験場紹介コーナー、Aコープコーナー、紙芝居コーナー、ソーラー展示コーナー （団体の全事業費1,101千円、うち補助対象額1,101千円、補助金充当率32%）				

⑤成果指標	成果を測る指標	指標の考え方・目標値	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	ア	農業展来場者数	12,000	9,000	8,000
	イ				

(6)遂行上の問題点、取組課題、改善方法（簡条書きで簡潔に記載）

農業展会場への来場者はここ数年減少傾向にあったため、会場内のレイアウトに工夫を凝らし22年度は集客に成功したが、アイキャッチ効果の高い資料の導入など、さらなる来場者数アップを図る必要がある。

(7)評価	必要性	3	農業展は、農のある暮らしそれを支える町の施策と特色を広くアピールする絶好の機会となっており、町が事業に関与する必要性は高い。	総合評価
	有効性	4	事業の継続は、農業展の成功に大きな役割を果たしており、その成功は町の農業振興及びそのPRに非常に効果的となっている。	3